

市行政の状況について

庄司勝義



質問 ↓ 市行政の重要課題はどんなっているのか。

答弁 ↓ 重要課題はクリーンセンター建設や、中心市街地活性化基本計画の策

定などである。また、新市建設計画における合併特例債活用事業の選択は、今後策定する第四次総合計画後期実施計画で確定させていく。学童保育は、施設使用許可を受け、他の利用者と調整を行いながら使用している。こども園については国のあり方により今後の動きを注視する。企業誘致は積極的に対策を講じる。昼間一人の高齢者への対策は、平成二十四年度から国の社会保障審議会、介護保険について調査研究する。中央病院アクセス道路は地元と調整中である。

これが学校教育の本来の姿

日本共産党津山市議員 久永良一



質問 ↓ 犬山市の学校教育アンケート(五年生)によれば、八十七%が「学校に来ることが楽しい」と思っている。さらに、子ども同士の「学びあいの授業」

では九十五%が「教えたり教えられたりすることは楽しい」と思っており、「学びあいの授業」で知識や技能の確実な習得が期待でき、励ましあい、助けあい、友との関わり方、心の豊かさなどを学習。不登校が少なく、学力格差が縮小、保護者との関係もよい。これが日本の公教育のあるべき本来の姿だと思ふ。犬山市の少人数学級、学びあい授業、高めあう教師力の向上を研究すべきだ。

答弁 ↓ 学力の二極化解消に向けて犬山市を始め、参考となる地域に、視察に行くなどして、効果的な指導方法の研究を進めていきたい。

「美作の国 建国千三百年」の取り組みはどうか

みどりの会 木下健二



質問 ↓ 「美作の国 建国千三百年」の取り組みについて、市長が美作観光連盟の会長を受けられると聞き、その意気込みに感謝している。ホルモンうどんやスローライフ列車など観光

資源が充実しつつある現在、この事業を美作地域の観光の目玉として、ぜひとも成功させたいと思う一念である。十二月八日にグリーンヒルズで講演会があると聞いているが、今後のスケジュールと取り組みについて、津山市としては、どのような考えを持っているのか。

答弁 ↓ 西暦七一三年四月三日、備前国の北部の郡を割いて、美作国が設置された。二〇一三年は、美作国が建国されてちょうど千三百年という記念にあたる。百年に一度のこの貴重な機会を活かし、観光や文化のまちづくりに取り組んでまいりたい。

ゴミ問題・観光と農林業の再生

みどりの会 西野修平



質問 ↓ ゴミ減量化のために生ゴミのバイオガス化の考えは。津山城を中心に出雲街道の城東・城西地区に景観条例を制定し、町並み保存をすべき。そして、林業の地産地消を考え、保

存地域に木造和風のむかし町家再現の助成金をつけるべきだ。農業の活性化のため、海外輸出を視野に攻めの農業を打ち出すべき。

答弁 ↓ 生ゴミ等のバイオガス化は新エネルギーギビジョン策定委員会の答申を踏まえ、具体的な事業を検討する。出雲街道町並み保存や津山城の眺望確保などの景観条例は市民のコンセンサスを得ながら研究する。競争力の強い農業を目指し、高付加価値型農業の推進、地域ブランド農産物の育成と六次産業化を推進する。